

(3)

鉄鋼

リサイクル7社提携

「日本版メジャー」始動

― 貴社の概要から。

「山口県周南市内に4つの事業会社があり、中特ホールディングスは統括会社同いたデイングスは統括会社同いたとして経営企画・総務・経理・環境安全に関する本社機能をも有し、ダチョウ飼育による食品リサイクルなど新規事業の立ち上げ役も担う。各社の特長は、中国特殊が周南地域(西部除く)の一般廃棄物・産業廃棄物の運搬収集と下水道・浄化槽メンテナンス。藤井興業は周南市西部の一廃の運搬収集など。吉本興業は固形一般廃棄物が対象。一廃、産廃とも汚泥が収集物とな

る。リライフは汚泥・汚水処理を得意分野にしており、下松工場は県内最大級の年間2万4千トン処理できる。従来、再資源化できなかった汚泥・汚水を中間処理し、セメント原料として納入するのが当社グループの強みだ」

― 提携に参画した動機は。

「7社のうち、当社は業種が違つし事業規模も小さく、本社が地方と、異質な存在かもしれない。発表当時はスクリップ参加と連絡が相次いで、だが、スクラップに参入する意思がないことは今後変わ



中特ホールディングス
橋本 ふくみ社長

業種異なるが「志」は共通

廃棄物の経験・知識提供

てもらつた中で理念・方針を良く理解していただき「志」を氏に薫陶を受けていたり、同じくしているとの思いが強く、「リサイクルメジャー」を指したい」との鈴木会長の提案に即答した

― 具体的なメリットはどうか。

「今回の提携では、将来的なアジア進出やリサイクルメジャーを目指すための準備と役割は。

となり、リサイクルの今後の方向性や事業の将来について集まっている。皆さん優秀な

「提携の首頭を取った鈴木孝雄スズークHD会長とは数年前から海外のリサイクル施設視察・見学旅行で知り合いのCSR報告書にも眼を通し

会社概要

- ▽事業内容 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬、リサイクル事業、下水道維持管理、貯水槽清掃ほか
- ▽売上高 5社合計12億円
- ▽従業員 100人
- ▽グループ会社数 4社

このシリーズは、本紙3月30日・31日と5月14日付掲載の「リサイクル6社「日本版メジャー」始動」の続きです。